

## 生体と寄生虫

(Host Defense against Parasites)

### 【責任者/担当者】

〔免疫学〕黒田 悦史 主任教授

### 【担当者】

〔免疫学〕安田 好文 准教授、中平 雅清 講師、松下 一史 講師、足立 匠 助教

### 【目的】

寄生虫の特徴、病原性とそれによって宿主に与える病態を理解する。

### 【科目キーワード】

「感染症(infectious disease)」「食中毒(food poisoning)」「熱帯病(tropical disease)」

### 【到達目標(アウトカム)】

- 原虫類・蠕虫類の分類および形態学的特徴を説明できる。
- 寄生虫の生活史、感染経路と疫学的意義を説明できる。
- 寄生虫感染による症状と宿主の生体防御の特徴を説明できる。
- 寄生虫症の診断、検査、治療と予防の概要を説明できる。

### 【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・世界における健康に関する問題について知っている。
- ・医学研究を知っている。
- ・自己管理能力を身に付け、自ら学修できる。
- ・同級生と教え合う態度を養成できる。
- ・患者の症状と身体所見、検査所見の重要性を理解している。
- ・ICTを活用し、疑問点を解決するための情報を収集して評価することができる。
- ・身体診察を見て、内容を理解できる。
- ・検査や基本的手技を知っている。
- ・疾患につながる病態生理の基本を理解している。
- ・治療につながる病態生理の基本を理解している。

### 【概要ならびに履修方法】

講義室での講義と実習室での実習(必修)を行う。

### 【準備学修ならびに事後学修に要する時間】

講義までに講義シラバスに 30 分程度目を通すこと。

### 【成績の評価方法・基準】

- ・定期試験(筆記試験)100%
- ・平常点と実習レポート点も加味し総合評価

### 【学生への助言】

授業後にはシラバスに記載の到達目標の項目を各自でノートに記述・まとめること。

### 【フィードバック方針】

問題ならびに正解を掲示もしくは配布する。

### 【オフィスアワー】

随時

### 【受講のルール、注意事項、その他】

- ・寄生虫実習ではマウス由来のサンプルを使用する。化学薬品や動物に対してアレルギーがある学生は事前に申し出ること。
- ・実習時には白衣を着用すること。
- ・質問等で研究室に立ち入る際には写真、動画等の無断撮影は禁止。

### 【教科書】

Moodle にて配布する。

### 【参考書】

「図説人体寄生虫学(改訂 10 版)」吉田幸雄 著 日本寄生虫学会 編(南山堂)2021 年

「寄生虫学テキスト(第 4 版)」上村清、他 著(文光堂)2019 年

「寄生蟲図鑑 不思議な世界の住人たち(増補版)」大谷智通 著 目黒寄生虫館 監修(講談社)2018 年

「笑うカイチュウ 寄生虫博士奮闘記(講談社文庫)」藤田紘一郎 著(講談社)1999 年

「寄生虫のひみつ ムズムズするけど見てみたい「はらのむし」たちの世界(サイエンス・アイ新書)」藤田紘一郎 著(ソフトバンククリエイティブ)2009 年 (※西宮キャンパス図書館所蔵なし)

### 【連絡先】

教育研究棟 8 階 免疫学 セミナー室

欠席連絡：[kuroetu@hyo-med.ac.jp](mailto:kuroetu@hyo-med.ac.jp)、[immu-mz@hyo-med.ac.jp](mailto:immu-mz@hyo-med.ac.jp)